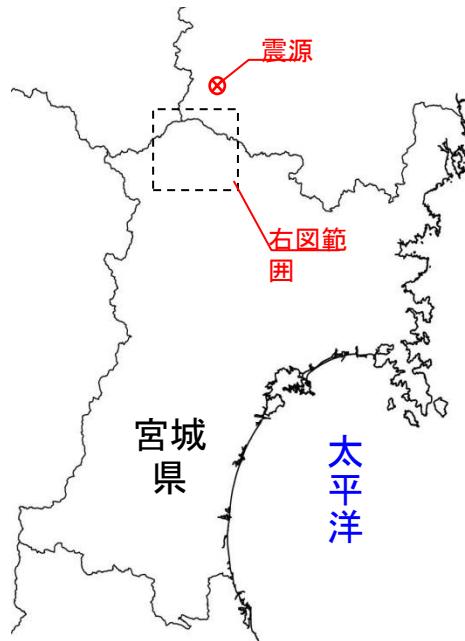


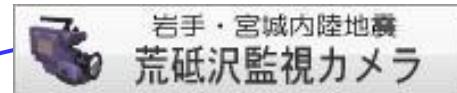
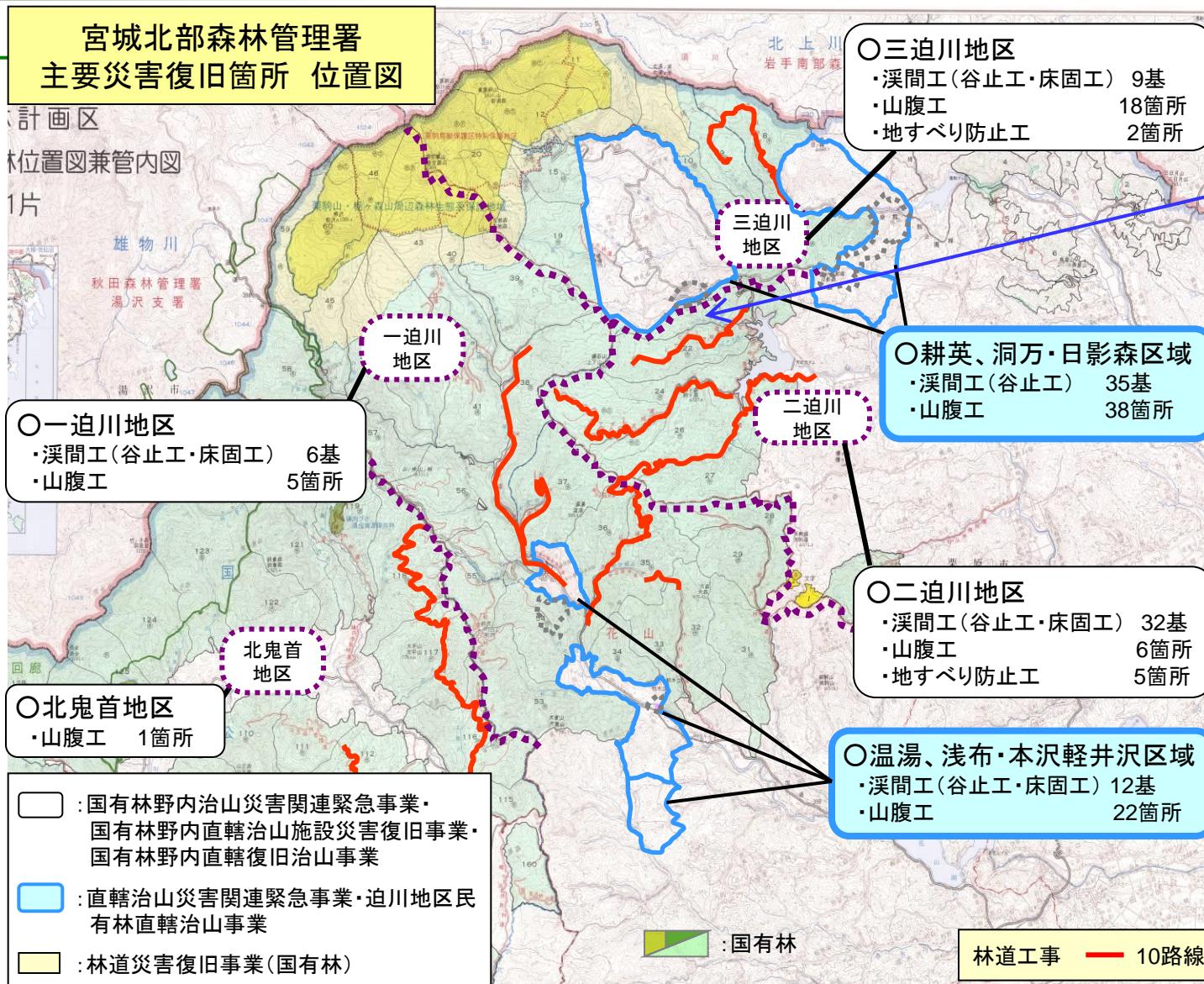
■ 概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成25年度末までに国有林治山事業で溪間工47基、山腹工29箇所、地すべり防止工7箇所、民有林直轄治山事業で溪間工47基、山腹工60箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。

平成26年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で5件、民有林治山事業で9件の工事を行います。



平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録
 2008年6月14日 午前8時43分頃発生
 地震の規模 M7.2
 最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
 震源地 岩手県内陸南部
 震源の深さ 約8km
 山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>



平成27年1月31日撮影

被災地の復旧状況 (溪間工の事例)

本施工地は栗原市栗駒沼倉西沼ヶ森地内に位置しています。岩手・宮城内陸地震により三迫川支流山腹が崩壊し、溪流内に大量の不安定土砂が堆積しました。荒廃の拡大と土砂の流出を防止するため、直下の溪流にコンクリート谷止工2基、鋼製枠谷止工1基を施工し、平成26年3月10日に完成しました。(写真は鋼製枠谷止工)

バックホウの無人化工法による施工事例 耕英地区Ⅱ(H20)治山工事

施工前



現在の状況



高所や粘性地盤上などでの作業を必要とし、人が乗り込んで作業するには、安全確保が容易でない場合に遠隔により重機を操作する場合があります。

写真は栗原市栗駒耕英地区、冷沢の大規模崩壊地での施工事例です。遠隔地において手元のコントローラーを用いバックホウを操作しています。

このような事例は、同流域の荒砥沢大規模地すべり地でも活用しています。



平成26年度 工事施工箇所

復旧工事を進めます

- ① 本沢軽井沢Ⅱ (H25) 治山工事 [コンクリート土留工ほか]
施工完了状況。

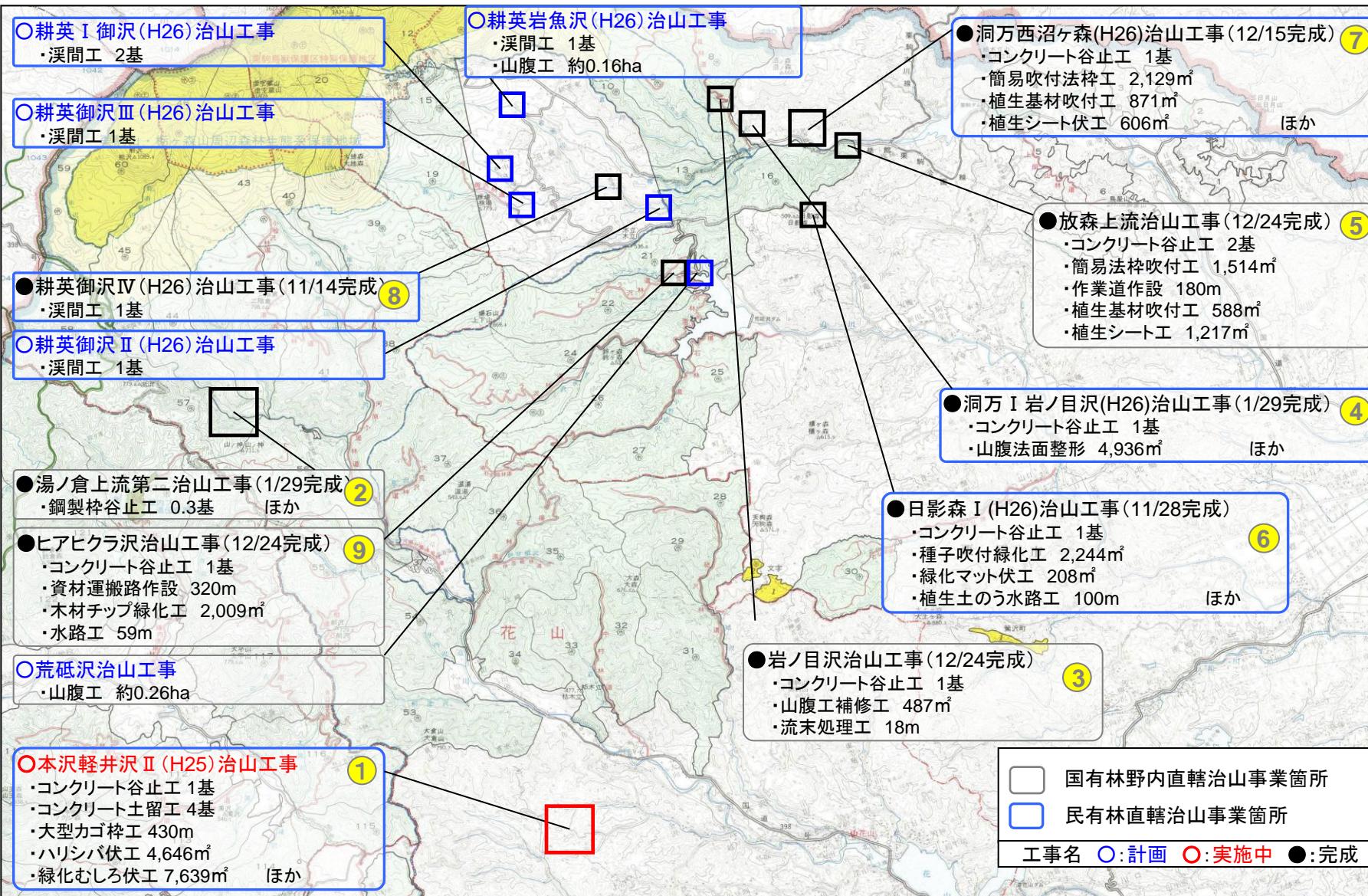


復旧工事が完了しました

- ② 湯ノ倉上流第二治山工事 [鋼製枠谷止工]
1月29日完了しました。



- ③ 岩ノ目沢治山工事 [コンクリート谷止工]
12月24日完了しました。



- ⑧ 耕英御沢Ⅳ(H26)治山工事 [コンクリート谷止工]
11月14日完了しました。



地震により御沢兩岸の山腹が大規模に崩壊し、渓流内や山腹斜面下部に大量の不安定な土砂が堆積しました。この不安定な土砂の流出を防止するとともに渓流の安定化を図るためコンクリート谷止工を実施しました。

- ⑨ ヒアヒクラ沢治山工事 [コンクリート谷止工ほか]
12月24日完了しました。



地震により、上流山腹で崩壊した大量の土砂が流下し、荒砥沢ダム湖に流入する被害を与えました。崩壊した土砂が渓流内に堆積していたため、大雨等による拡大崩壊や土砂流出の防止、渓流の安定化を図るためコンクリート谷止工を実施しました。

復旧工事が完了しました

- ④ 洞万Ⅰ岩ノ目沢(H26)治山工事 [コンクリート谷止工]
1月29日完了しました。



- ⑤ 放森上流治山工事 [コンクリート谷止工ほか]
12月24日完了しました。



- ⑥ 日影森Ⅰ(H26)治山工事 [コンクリート谷止工ほか]
11月28日完了しました。



- ⑦ 洞万西沼ヶ森(H26)治山工事 [コンクリート谷止工]
12月15日完了しました。

